

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	学校名 : 千葉市立花園中学校 対象学年 : 3学年 クラス(人数): 1～8組 (163人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科・保健体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちが、よりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実戦力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。
5 取組内容	体育原理：文化としてのスポーツ（3時間） 1、現代社会におけるスポーツの文化的意義 2、国際的なスポーツ大会とその役割 3、人々を結びつけるスポーツ これらの学習内容を従来の教科書と板書を用いて、知識を一方向的に伝えるという授業内容ではなく、オリンピックやパラリンピックの映像資料やクイズ等を活用し、生徒の興味、関心を引き付ける授業を行った。また、グループ活動を取り入れ、知識を学ぶだけでなく、考え、気づき、深めることのできる活動を行う。2020年東京オリンピック・パラリンピックに自分はどうに関わることができるか考えることで、スポーツの意味や意義、重要性に気付かせる。
6 主な成果	オリンピック・パラリンピックの映像資料やクイズのスライドを活用したことで、生徒たちは興味を持ち、意欲的に授業に参加したと感じた。また、グループ活動では、たくさんの意見が活発に出され、自分たちの出した意見を基に、発表を通し、他グループの新しい意見なども取り入れ、発展的に活動を重ねていくことで、自主的で、対話的で、より深い学びがあったと感じた。 オリンピック・パラリンピックという世界的な大会が東京さらには千葉県も会場になるということ、関連づけた学習内容だったので関心はとても高かった。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① オリンピック、パラリンピックの映像資料を活用し生徒の興味関心を引き出す。 ② クイズ形式のスライドを作成し楽しみながら展開する。 ③ グループ活動、話し合い、発表などを取り入れ、考える、伝える、聞く、発展させるなどをしながら、自分の考えを深めたり、新しい気づきがある授業を作る。 ④ グループも少人数にし、話し合いがしやすいようにした。話し合いの約束として、批判厳禁、便乗歓迎、聞こえる声で、発表してから付箋を貼る、必ず順番に発表する、パスはOK、というルールを共通理解して始めた。 ⑤ グループ活動では、台紙を準備し、付箋を用いて、出した意見を自由に貼ったり、張り替えたりできるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<p>資料や、活動内容が盛りだくさんになってしまし。3時間の授業ではあわただしくなってしまった。</p> <p>展開や活動はよかったので、もう1時間増やすか、内容を厳選する必要はあると感じる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>未定</p>